

県南広域振興局の取組みについて

1 県南広域振興局の設置 (H18.4)

(1) 広域振興圏設定の意義

- ア 市町村中心の行政システムの確立
- イ 産業振興による地域経済の強化

(2) 広域振興局設置の目的・役割

- ア 業務の完結性を高めること。
- イ 地域に密着した圏域の一体的かつ効率的な広域行政を行うこと。
- ウ 現場主義による戦略的な広域行政を展開すること。
- エ 総合支局は、当面現在の地方振興局のサービス水準を維持し、行政センターは窓口対応や相談受付、現地で必要な業務を適切に対応すること。

2 組織運営の考え方

- (1) これまでの地方振興局同様その強みである「現場主義」の徹底と実践
- (2) 「広域振興局ならではの」特性 (=強み) 生かした一体的かつ効率的な広域行政の実践
 - ア 所管区域の広さゆえの多様で豊かな地域資源 (人的、物的等資源)
 - イ 一元的に活用できる組織・マンパワーの充実 (=量的、質的)
- (3) 地方分権改革を進めるための市町村への権限移譲
- (4) 各産業分野別の戦略等の策定、その戦略を官民一体となって進めるための広域的なネットワーク等の形成

3 これまでの成果

- (1) 一体的かつ効率的な広域行政を戦略的に実施するための組織運営
 - ア 『県南広域振興局経営戦略会議』の設置
 - イ 『広域課題検討チーム』の編成
 - ウ 『地域協働委員』制度を発足
 - エ 『産業振興戦略等』にそった施策・事業へ重点化

- (2) 「市町村中心の行政システム」の確立を推進
 - ア 県南局一体での権限移譲の推進
- (3) 「県南広域振興圏産業振興戦略等」の策定と広域的なネットワーク等の構築
 - ア 県南広域振興圏産業振興戦略等を策定
 - イ 「平泉文化遺産観光活用推進アクションプラン」を策定
 - ウ 「広域的なネットワーク等」の形成
 - ・ 北上川流域ものづくりネットワーク（18年5月17日設立）
 - ・ いわて自動車関連産業推進協議会（18年6月7日設立）
 - ・ 県南地域ものづくり戦略会議（18年8月8日設置）
 - ・ いわて県南広域観光産業振興推進協議会（19年4月23日設立）
 - ・ 南いわて食産業クラスター形成ネットワーク（19年6月19日設立）
 - ・ 北上川流域地域産業活性化協議会（19年6月21日設立）
 - ・ 授産事業トータルネットワーク（仮称）（19年8月1日設立予定）
 - ・ 北上川流域観光地域づくり協議会（仮称）（19年8月設立予定）
- (4) 広域振興局における業務の完結性の向上
- (5) 地方振興局の「サービス水準」の維持及び改善

4 課題

- (1) 過渡的な組織構造による支障の克服
- (2) 広域振興局におけるトップマネジメントの強化
- (3) 情報マネジメントが不十分
- (4) 管内市町とのコミュニケーションの充実
- (5) 新たな業務等評価制度の構築
- (6) 広域振興局における今後の組織、人事、予算編成の各制度の検討
- (7) 広域振興局化に伴って生じた非効率等の解消

5 今後の取組み方針

- (1) 市町への権限移譲の一層の推進
- (2) 産業振興による地域経済の強化
- (3) 一体的、効率的な組織運営の推進及び組織再編に向けた検討の着手
- (4) サービス水準の向上